

## 北陸新幹線（敦賀・大阪間）の整備促進に関する決議（案）

北陸新幹線は、大規模災害時において東海道新幹線の代替機能を果たすとともに、東北・北陸・関西・山陰などをつなぐ日本海国土軸の形成に必要不可欠な国家プロジェクトである。

敦賀・大阪間については、本年3月の与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームにおいて、全区間のルートが決定されたところであるが、国土交通省の調査結果によると、新大阪駅までの全線開業時期は、約30年後の2046年となっている。

しかし、北陸新幹線の開業効果を早期に発現させるためには、1日も早い着工と大阪までの全線開業が不可欠である。

このため、政府・与党において、沿線地域の意見を踏まえながら、駅・ルート公表に向けた詳細調査および環境アセスメントを地元調整も含め丁寧かつ迅速に進められ、これと並行して、建設財源確保の見通しを早期に立てられ、新大阪駅まで一気に、フル規格による全線開業を1日も早く実現することを強く要望する。

以上、決議する。

平成29年12月5日

北陸新幹線（敦賀・大阪間）建設促進決起大会